

進路だより

札幌市立新琴似中学校

2025.11.5 発行

第 43 号

進路説明会を終えて

10月30日（木）に行った「進路説明会」には、多数の保護者の皆様にお越しいただきました。ありがとうございました。『進路説明会 資料』はお子様を通してお手元に届いていますでしょうか。

当日、所用で来校できなかったご家庭の皆様へ、当日説明した内容（特に注意していただきたい事柄など）を中心にまとめました。ご一読ください。

● 公立高校出願について

受検料（全日制2200円、定時制950円）

- ・道立高校は「北海道収入証紙」（「収入印紙」ではない）を購入し、願書に貼付。
- ・札幌市立高校はクレジットカードを使ってオンライン決済、または銀行窓口で納付。

● 公立高校の「通学区域制限」

- ・全日制普通科のみ「学区制限」がある。

● 『出願手続き依頼書』

- ・三者懇談（12月実施）終了後、翌日に提出していただきます。

● 公立高校の「出願変更」（一般入学者選抜）

- ・出願後、一度だけ出願先を変更することができます。
手続きの日程は「進路説明会資料」に載っています。
また、手続きは保護者の方に行っていただきます。（当初出願した高校へ。場合によっては変更先の高校へも行っていただくこともあります。）

● 公立高校の「自己推薦入試」

希望者は、11月7日（金）までに担任へ申し出る。

- ・倍率が高い高校では「自己推薦」で出願しても、合格内定にならない現状がある。
- ・「自己推薦書」の作成に時間がかかり、入試に向けた学習時間に影響がある。
（中学校では内容の添削指導は基本的には行いません。誤字脱字の指摘程度を行います。自分の思いを自分の言葉で表現することが目的です。）
- ・「面接」等の試験があり、面接練習にも時間をかけなければならない。
- ・合格内定とならなかった場合に、気持ちの切り替えがなかなかできない。

上記の説明をさせていただきました。全てをご理解の上、各高校のスクールポリシー（入学者受け入れに関する方針）を理解しそれに自分が該当し、「その学科に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者」（道教委発表資料より）に自分が該当すると判断できる場合に「自己推薦入試」の希望を申し出てください。練習用紙を渡します。

● 受験（検）校の決定時期

一般入試の時期が私立のほうが2週間程度早い関係もあり、「私立高校」は11月20日頃までに、「公立高校」は遅くとも12月の三者懇談までに最終判断をお願いします。それを受けて出願関係書類の請求、出願準備などを進めていきます。ご協力ください。